

腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を受けられる患者さまへ

手術の開始時間()時頃です

患者様用

患者氏名: 様

受持医:

受持看護師:

月日(日時)	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目(退院可)
経過(病日等)						
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆退院基準を理解し同意する ◆手術の必要性を理解し、同意する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆洗腸後十分な排便がある 	<ul style="list-style-type: none"> ◆循環動態が安定している ◆深部静脈血栓症の兆候がない ◆腸蠕動が開腹し排ガスがある ◆腹部膨満がない ◆創痛がコントロールできる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆深部静脈血栓症の兆候がない ◆腸蠕動が回復し排ガスがある ◆腹部膨満がない ◆創部の異常がない ◆創痛がコントロールでき歩行に支障がない ◆食事が開始できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆腸蠕動が回復し排ガスがある ◆腹部膨満がない ◆創部の異常がない ◆創痛がコントロールでき日常生活に支障がない ◆食事が5割以上摂取できる 	<p>【退院基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆創部の異常がない ◆創痛がコントロールでき日常生活に支障がない ◆食事が5割以上摂取できる
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ	眠れない場合は睡眠薬を内服します 寝る前に下剤を内服します	()時頃から手術の準備をします 手術が午後の場合点滴を行います	点滴をしています 	手術後1日目まで点滴をしています		
処置	除毛を行います	朝6時頃に洗腸をします 弾性ストッキングを装着します 手術をするところに主治医が印をつけます	血栓予防の機械を足に装着します	尿管を抜去します 弾性ストッキングを外します 血栓予防の機械を外します		
検査				血液検査があります		
活動安静度	制限ありません		手術後3時間からベッドを起こします	制限ありません		
食事	通常の食事です 絶食の時間については麻酔医の指示に従います	朝から絶食です 		主治医の許可があれば昼から食事が始まります		
清潔	除毛後に入浴してください			看護師が体を拭きます	創部を確認後主治医の許可があればシャワー浴ができます 	
排泄			尿管が入っています	初回歩行時は看護師が付き添います 尿管が抜けた後はトイレまで行くことができます		
患者様及びご家族への説明生活指導リハビリ指導栄養指導服薬指導	受持医が入院治療計画と手術について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 看護師が術前オリエンテーションをいたします 麻酔医が診察いたします 手術室看護師が訪問いたします 薬剤師が薬について説明いたします 栄養士が必要に応じて栄養指導をいたします 手術に必要な腹帯1枚を準備してください 腹帯は売店にあります 入院費に関するご心配がありましたらお早めに4階6番窓口にご相談してください	手術後、受持医がご家族に手術の結果について説明いたします 痛みがあるときは鎮痛薬を使用します。早めに教えてください 				看護師が退院後の生活について説明します ・少しずつ手術前の生活に戻してください ・創が腫れたり、発赤が増強するときは外来を受診してください ・重い荷物を抱えたり、かんだりすることは控えてください 

注 入院期間については現時点で予想されるもの期間です。